

招集年月日	平成29年9月5日(金)	午前10時開会
会 場	小美玉市本庁舎 3階 議会委員会室	
出席委員	岩本好夫委員長・幡谷好文副委員長・市村文男議長・野村武勝・荒川一秀 大和田智弘・小川賢治・福島ヤヨヒ・谷仲和雄・木村喜一	
欠席委員	戸田見成	
説明員職氏名	なし	
職務出席者の職指名	書記 富田 成	
付託事件	①ダイヤモンドシティ・プロジェクトの進捗状況 ②政策提言の進捗状況 ③議会報告会について ④その他	
	開会宣言 平成29年9月5日 午前9時58分	
幡谷副委員長	みなさんおはようございます。定刻前ですがお揃いになりましたので、地方創生まちづくり特別委員会を開会といたします。まず、最初に委員長からご挨拶をいただきます。	
岩本委員長	おはようございます。地方創生まちづくり特別委員会お集まりいただきまして誠にありがとうございます。地方創生今日はいつも通りダイヤモンドシティ・プロジェクトの進捗状況、政策提言の進捗状況、それと先日行いました議会報告会について議題となっております。地方創生は全庁で係っていかなくてはならない問題でありますし、議会のほうでも意識を共有して意見を交換しながら、より良い地方創生が成し遂げられるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。	
幡谷副委員長	続きまして、市村議長よりご挨拶をいただきます。	
市村議長	それではおはようございます。今日は早朝から大変ご苦労さまでございます。定例会はじまってから一般質問の前の最初の委員会でございます。慎重なるご審議をいただきたいと思います。大変ご苦労さまです。	
幡谷副委員長	続きまして、執行部より林副市長ご挨拶をお願いします。	
林副市長	みなさんあらためましておはようございます。本日は早朝よりお集まりいただきまして地方創生まちづくり特別委員会ということで、ほんとうにご苦労さまでございます。31日より開会していただきました議会におきまして、明日から一般質問ということで、お忙しいなかご苦労さまでございます。今回の地方創生まちづくり特別委員会につきまして、特に今回議案でも出産祝い金制度等ダイヤモンドシティ・プロジェクトに基づきながら、あらたに議案を上程させていただいているところでございますが、一つひとつダイヤモンドシティ・プロジェクトに基づきながら事業をしっかりと進めさせていただきたいというふうに考えておりますので、今後とも引き続きお世話になります。よろしくをお願いします。本日はご苦労さまです。よろしくお願いたします。	
幡谷副委員長	ありがとうございました。早速協議のほうに移りたいと思います。協議の進	

	行については岩本委員長お願いいたします。
岩本委員長	それでは、協議に入ります前に、今日この委員会のほうを傍聴したい旨の報告があります。委員のみなさまに諮りたいと思います。傍聴を許可してもよろしいでしょうか。
各委員	「異議なし」と呼ぶ声あり
岩本委員長	異議なしと認めます。では、傍聴を許可いたします。それでは、早速協議に入らせていただきます。1番項ダイヤモンドシティ・プロジェクトの進捗状況、執行部のほうより説明をお願いいたします。
藤田福祉子ども課長	それでは、平成29年度ダイヤモンドシティ・プロジェクト進捗状況につきましてご説明させていただきます。失礼いたしましたして着座にて説明させていただきます。お手元に配布してございます資料1をご覧くださいと思います。子ども福祉課所管の事業につきましてはNO.1からNO.7になりますが、ここで資料の大変申し訳ないんですが、訂正を1ヶ所お願いしたいと思います。NO.1の恋愛結婚イメージアップ事業につきまして、進捗状況が未実施と表記されておりますが、こちら既に契約等も進めておりまして事業も進んでおりますので、実施中ということで訂正のほうをお願いしたいと思います。大変申し訳ございません。それでは、説明のほうに入らせていただきます。1枚めくっていただきまして、恋愛結婚イメージアップ事業でございますが、お手元の配布資料1ページとなります。まず、昨年度作成いたしましたオリジナル婚姻届250枚、また、記念証300枚を事業費3万円で印刷してございます。8月31日現在の窓口での配布数でございますが、オリジナル婚姻届が160枚、記念証が53枚となっております。また、オリジナル婚姻届を利用して小美玉市へ届出された件数は45件でございます。なお、若干データ取っている期間が6月以降になってしまうんですが、6月以降のデータとなってしまいましたが、婚姻届総数のうちオリジナル婚姻届を利用したの届出率は24.1%となっております。次に、結婚式プロモーションビデオ作成ですが、昨年度作成した恋愛結婚イメージアッププロモーションビデオダイヤモンドウエディングに続きまして、今年度も結婚式プロモーションビデオ作成委託料としまして、149万9,904円の委託契約を締結してございます。ムービーの内容ですが、小美玉市在住のご夫婦を4組取り上げまして、各組1分から1分30秒程度のムービーとしまして、仕事、趣味、家庭での様子などお二人の充実した暮らしを紹介することによって結婚に消極的になりつつある若者に結婚っていいなと感じてもらい、人生設計の選択視のひとつに恋愛や結婚が加わるようにイメージアップを図りたいと考えております。恋愛結婚イメージアップ事業につきましては、今後作成したオリジナル婚姻届やバックボード及びプロモーションビデオの活用について、その高価を高めるため、広く周知を図るなどさまざまな手法を検討してまいりたいと考えております。続きまして、多彩な合コン・街コン事業でございますが、配布資料の2ページをご覧くださいと思います。平成29年度は、5回の開催を予定しております。詳細につきましては、配布資料1-1平成29年度多彩な合コン・街コン開催状況のほうをご覧くださいと思います。また、事業の開催にあつては、小美玉市結婚推進事業実行委員会を組織し、本年度は、これまでに3回会議を開催しております。会議の開催状況につきましては、同じく

資料1-2になりますが、平成29年度 チームLife plus One 開催状況をご覧いただきたいと思ひます。事業費は、5回の事業総額で50万円を予定してごひます。資料1-1にあります第1回小美玉グルメ&ビアフェスDE街コンにつきましては、先日9月1日の実施を予定してありましたが、台風が来るといふ予報がでてありまして、雨といふよりは強風に対してテント等の設営を考へてありまして、テント等などが飛ばされる危険性があるといふことで、残念ながら中止とさせていただけました。多彩な合コン・街コン事業につきましては、参加者の確保が難しいところではありまますが、周知や開催方法について工夫するとともに、参加者のアンケートを見ると好評を受けているところでごひますので、引続き実施してまいりたいと考へてありまます。また、この事業の成果として、成婚実績の確認方法について検討してまいりたいと考へてありまます。次に、婚活事前講座でごひます。資料の3ページになります。平成29年度は4回の講座開催を予定してありまます。詳細につきましては、配布の資料1-3 平成29年度 婚活事前講座開催状況をご覧いただきたいと思ひます。事業費は、講師への謝金としまして8万円でごひます。結婚に向けた気持ちはあってもなかなか結婚にいたらないといふ方も多いことから、男性や女性の魅力アップのためのノウハウや、まずは、お友達からの結婚へに向けた第1歩を踏み出すための講座を開催したいと考へてありまます。婚活事前講座につきましては、多彩な合コン・街コン事業前の講座とするなど、他事業と関連しての企画内容とするなど検討し引続き実施してまいりたいと考へてありまます。次に、出産祝い事業でごひます。資料の4ページをご覧いただきたいと思ひます。今回の定例議会にふるさと応援に対する指定寄附金を財源といたしまして、800万円の増額補正をお願いしている事業でごひます。子育て世代の経済的負担を軽減し、子育て支援がしやすいまち小美玉市を目指すため、子どもの出生時に出産祝金を支給するもので、多子世帯に対して手厚い支援となるよう段階的に祝金を増額いたします。対象は今年度途中からの事業開始となることからさかのぼりしまして、平成29年4月1日以降に出生した新生児といたしまます。金額につきましては、第1子・第2子が2万円、第3子・第4子が3万円、第5子以降が5万円としてごひます。次に、イクメン成長物語事業でごひます。資料5ページになります。平成29年度は3回の開催を予定してありまして、詳細につきましては資料1-4 平成29年度 イクメン成長物語事業講座開催状況をご覧いただきたいと思ひます。出産後の女性の継続就業率の向上と男性の育児参加の促進など、仕事と生活の調和、ワークライフバランスに関する各種イベントと連携した講座の開催を検討してまいりたいと考へてありまます。事業費は講師への謝金としまして8万円、パパの料理教室の材料代として2万円。合わせて10万円でごひます。次に、出産・子育て情報アプリ事業でごひます。資料6ページになります。子育て世代に対する積極的な情報提供を行うため、子育てサイトと子育てアプリを昨年度構築いたしました。事業費はサイト及びアプリの構築と運用を合わせて5年間の長期継続契約としたことから、1ヶ月あたり4万500円になってごひます。子育てアプリはホームページの情報を出先などでもスマートフォンなどから手軽に確認することができるよう、利便性を向上させたものです。主な機能は、保育所などの施設の位置情報や、妊婦記録、成長記録、また、予防接種やイベント情報をプッシュメールでお知らせする機能となっております。出産・子育て情報アプリにつきましては、今後掲載される情報内容の充実を図るとともに、掲載情報の更新削除等も管理を十分行いまして、利用者にとって利便性の高いシステムとして維持してまいりたいと考へてありまます。なお、8月末現在でのアプリダウンロード数でごひ

	<p>いますが162件となっておりますが、引続き周知を図りダウンロード数を伸ばしていきたいと考えております。次に、子連れに優しい店舗の推奨事業でございますが、資料7ページになります。この事業は子育ての環境整備として、市内の事業所等の駐車場にマタニティマークなどを設置する事業所へ、その経費の一部を助成するものでございます。この事業の周知につきましては、申請の受付期間を平成29年10月12日から平成30年2月20日までとしまして、広報おみたまや市ホームページにより周知してまいりたいと考えております。しかしながら昨年度につきましては、広報紙やホームページで周知したところ申請がなかったことから、事業所を訪問しての周知も行いましたが最終的に申請は0件であったため、本年度も申請がない場合には、事業内容や補助率補助額の変更について検討が必要であると考えております。子ども福祉課所管の事業につきましては以上でございます。</p>
倉田政策調整課長	<p>続きまして、政策調整課所管事業についてご説明させていただきます。資料8ページをご覧くださいと思います。着座で失礼いたします。トータルデザインによるシティセールスの推進事業につきましては、予算額20万円に対しまして15万5,662円が施行済となっております。本事業につきましては、市民のシビックプライドの醸成及び市外への小美玉市の認知度向上を図るため、市内及び全国に向けた効果的な情報発信、シティセールスを行うものでございます。実施状況及び成果といたしましては、市民のシビックプライド醸成といたしまして、ダイヤモンドシティ小美玉ロゴマーク缶バッジ並びに注文度ランキング日本一缶バッジを製作しまして、各庁舎では継続して配布をしております。また、ふるさとふれあいまつり等でも配布しております。また、これまでに製作しました観光、移住・定住、恋愛・結婚の動画を編集しまして、約30秒にまとめたCM映像を作成いたしました。これを7月8日水戸ホーリーホックホームゲーム小美玉市民の日で放映をしております。さらに、市内の中学校へ各分野で製作しました映像を放映してもらうように、1本のDVDにまとめて配布したところでございます。課題及び反省点、今後の対応策等につきましては、これまで駅の構内に設置されているデジタルサイネージや、金融機関店舗モニターなどの放映費用の調査を実施いたしました。さらに調査研究を重ねまして、費用対効果を勘案しながら、より効果的な情報発信手段の検討を行ってまいりたいと思っております。以上で説明を終わります。</p>
中村商工観光課長補佐	<p>商工観光課からは、わたくしのほうから説明をさせていただきたいと思っております。座って失礼いたします。商工観光課の進捗状況をお話したいと思っております。9ページから13ページまでが商工観光課の進捗状況でございます。はじめに9ページようこそ小美玉事業、こちらは小美玉観光協会事業費補助金となっております。リーフレット・パンフレット作成です。訪日する中国人に向け中国語版パンフレットを作成し、市への観光誘客を図るというものです。現在実施中でして日本語版で発行されている「小美玉市るるぶ」の内容を中国人向けに改訂し、翻訳するというものです。新規掲載者への取材は終了しております。11月下旬に納品予定となっております。続きまして10ページ同じくようこそ小美玉事業、こちらも小美玉環境協会事業費補助金となっております。銀聯（ギンレン）決済端末導入補助、こちらは中国人が決済しやすい環境を整える為、市内の事業者へ銀聯決済が可能な端末の導入補助を行うというものです。こちらも現在実施中でして、現在宿泊業こちら橋本旅館さんなんですが、一社のみ助成金支払いが完了しております。現在使える状況でございます。</p>

そのほかに、助成中のところが3店舗、そ・ら・らのJA、レストラン、小川のウエダデンキさんと現在助成中でございます。こちらの課題といたしましては、端末自体を無料リースしているファイナンス会社も多くありまして、なかなか応募が集まらない状況です。端末の導入補助のみでなく、レジとのPOS連動の費用や、レジが無い場合は端末のネット通信費も補助対象としております。続きまして11ページ同じくようこそ小美玉事業、こちらも小美玉環境協会事業費補助金です。外国語表記の案内等作成ということで、外国語表記の観光情報の発信や、各店舗、観光スポットの看板案内などを外国語に併記することで、外国人旅行客が訪れやすい環境を整えるというものです。こちらは、3ヶ国語に併記する予定でして、現在、空港のタクシーの看板の案内内容の一部変更や、ホームページの外国人向けアクセスページの作成も検討しております。

続きまして12ページ同じくようこそ小美玉事業、こちらも小美玉環境協会事業費補助金となっております。観光案内人員の設置、こちらは昨年度も設置させていただいていたんですが、地域再生拠点施設のそ・ら・らに中国語を話し、観光案内等の魅力発信をする「小美玉コンシェルジュ」1名を配置するというものです。こちらも昨年度から実施しておりまして、昨年は巡回案内のみだったのですが、今年はおもてなしセミナーに参加するなど、積極的に活動いただいております。続きまして13ページこちらも同じくようこそ小美玉事業、こちらも小美玉環境協会事業費補助金となっております。こちら、おもてなしセミナーの開催ということで、増加している外国人観光客に対する「おもてなし意識」の醸成に向けて、市内在住者を対象におもてなしセミナーを行うというものです。こちらは今年7月29日に実施済みでして、こちらの内容といたしましては、JTBと共催で午前中は市内のアクティビティスポットそ・ら・らなんですけど、そちらで農業体験、そ・ら・らに集合していただいて、小美玉市産のニラ刈り体験をしていただきました。内容といたしましては、ニラ農家にてニラ刈りを行いまして、中華料理で使われる食材のひとつのニラの花、中国ではニラの花を食べるとのことなので、ニラの花の摘み取り体験を行いまして、第2部といたしましてニラを使った料理教室を開きまして、昼食をそこで花ニラと牛肉の炒め物、ニラ餃子、ニラ玉スープなどを作りましてそちらで中国の方、日本人の方仲良くテーブルを囲んで昼食をとったということになっております。午後から中国人の講師を招きまして、おもてなしセミナー意見交換会ということで、こちらでインバウンドに向けての意識の向上に繋げるため、人口減少の観点からインバウンドの必要性をお話してもらい、概ねみなさんの理解を得たところでございます。課題といたしましては2回目ということで、「セミナー」としての課題は概ね解消されてはありましたが、今後、このようなセミナーやグループワークで学んでもらった事を実践に活かして行けるかという企画が必要かなと思われまして、対応策といたしまして、今後の事業のなかで参加していただいたメンバーの方に、ボランティア観光ガイドとして中国人を案内してもらおう形などのセミナー等などが良いのかなと思われまして。また、今後外国語版パンフレットも作成されますので、看板等の表示とともに外国語に翻訳し、さらなる訪日外国人を取り入れる分かりやすい情報の発信を必要だと思われまして。続きまして、こちらは市の事業となります。ようこそ小美玉事業、事業内容といたしましては、小美玉市PR動画等編集委託事業、こちら2本今年には動画作成をいたします。1本目が観光PR促進動画制作として40万円、小美玉市の認知度向上を図りまして、交流人口増加を目的とした小美玉市プロモーション映像の制作を委託しております。2本目がインバウンド推進観光PR動画制作20万円、こちらは小美玉市と石岡市茨城大学との広域連携を図

	<p>りまして、インバウンドに向けた観光PR動画制作を茨城大学の学生に制作をお願いしている次第でございます。現在、実施中でございます。1本目の観光PR促進動画制作に関しましては、市内映像制作会社に委託しております。本年度は小美玉市の珍しい神社仏閣等を中心に、ストーリー仕立ての映像で紹介する予定となっております。現在、各神社代表には了承を得ておりまして、撮影は9月末より開始予定でございます。2本目のインバウンド推進観光PR動画制作に関しましては、茨城大学に委託しております。こちらは茨城大学で専門的に学んでいる学生さんにシナリオ、映像編集を委託しております。こちら石岡市と小美玉市の広域連携事業として、ドラマ風動画と魅力紹介動画を制作予定となっております。撮影は9月頃から開始予定となっております。こちらで商工観光課の進捗状況を終了させていただきます。</p>
島田市長公室長	<p>続きまして、市長公室所管の事業についてご報告いたします。15ページをご覧ください。まず、市長と市民のランチミーティング事業でございます。普段接する機会が少ない市長と市民とが地元食材を用いた昼食を共にしながら、交流を深めることを目的としております。今後、女性団体や農業団体等とのランチミーティングを予定しております。10月の地産池消の日に合わせて、小美玉学校給食センターにおいて、PTAのお母さんと実施を予定しております。続きまして、16ページをご覧ください。地域におけるシビックプライドの醸成事業でございます。自らの故郷の素晴らしさや美しさを再認識することにより、故郷を誇りに思う心を育むため、小美玉市を代表する風景のひとつであるダイヤモンド筑波を題材に、フォトコンテストを実施いたします。現在9月11日(月曜日)を締め切りに作品を募集をしております。募集部門は美しいダイヤモンド筑波を写真に収めたダイヤモンド筑波フォト部門と、画像を加工したコラージュ部門で、さらに子どもたちにも参加しやすいように、コラージュ部門を小学生以下の部と中学生以上の部に分けております。出展された作品は各文化センターで展示を行い優秀な作品については、市民の日において表彰をする予定でございます。続きまして、17ページをご覧ください。小美玉市情報発信ボランティア育成事業でございます。小美玉市の魅力を学び、体験し、情報紙やブログ・SNSなどのツールを使って魅力を発信するボランティアを育成いたします。昨年度の事業で地域コミュニティ等から参加者を募り、地域の魅力や情報を発信するためのパソコン研修会を開催しております。今年度は技術を習得した方を中心に、情報紙の作成やブログ、SNSでの情報発信研修を実施いたします。以上でございます。</p>
佐々木まちづくり戦略室長	<p>続きまして、企画調整課所管事業を説明させていただきます。わたし企画調整課の佐々木です。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。それでは、資料18ページをご覧ください。まず、ひとつめの事業といたしまして、ダイヤモンドシティ・プロジェクト推進事業委託となります。この事業につきましては、昨年度より実施しておりまして今年度で2年目となります。事業内容といたしましては、本市総合戦略でございます「魅力創出」「移住定住促進」「結婚促進」この3要素を総合的かつ一体的に実施するものでございまして、より事業高価を高めようというものでございます。今年度につきましては、公募方プロポーザル事業提案を行いまして、3社からご提案をいただきました。審査の結果昨年と同様の株式会社電通東日本の事業を採用させていただきました。今年度の事業につきましては、4つの事業で構成されておりました。昨年度事業からあらたに資料(2)の事業でございますが、小美玉PR隊・発</p>

見取材ツアーがあらたに加わっております。この事業は、昨年度事業で小美玉市に興味を持っていただいた首都圏在住の女性の方々にPR隊として登録をいただきまして、これまでご自身のフェースブック等のSNSで小美玉市の情報を発信いただいておりますが、今年度につきましてはさらに発展をさせまして、このPR隊の方々に実際に小美玉市の気になるところをご自身で取材をしていただきまして、首都圏在住の女性へ響く情報発信として「恋するマップ」の作成を行っていただきます。そのほか3事業につきましては、昨年度から内容を充実させて実施する予定でございます。執行額につきましては1,495万8,000円となっております。続きまして、19ページをご覧いただきたいと思っております。この事業につきましても、昨年度より2年目の事業でございます。小美玉市ふるさと同窓会応援事業となっております。昨年度につきましては、補助件数が2件に留まっております。問合せが数多くありましたが、そのなかで対象年齢の拡充、さらには市外店舗での実施など要望がございまして、今年度実施分より対象年齢の拡充並びに市外店舗での実施の要件緩和など行っております。申請件数の増加を図りまして、ふるさと回帰のきっかけ作りを増やしたいというふうに考えております。年齢要件につきましては、25歳から30歳までの全ての年齢を対象といたしまして、30歳から65歳までにつきましては、5歳刻みの年齢を対象としております。そのほかの要件につきましては、参加人数が40名以上となる場合のみ近隣市町村店舗での実施が可能となっております。そのほか1団体あたりの補助上限を50名分の10万円から、75名分の15万円と増加をしております。続きまして、20ページをご覧いただきたいと思っております。この事業は、ヨーグルトサミットの開催ということで、県内屈指の生乳生産量を誇る小美玉市で作られます乳製品、特にヨーグルトの普及促進と、おみたまブランドの確立並びにシビックプライドの醸成を図るため、全国のヨーグルト生産地に呼びかけを行いまして、ヨーグルトの今後の消費拡大や交流人口の増加並びにおみたまブランドの確立に向けて活力あるまちづくりとするため、平成30年度にイベントを開催する予定でございます。それに先駆けまして今年度イベントの実施計画の策定を行う予定でございます。イベント運営業務の企画提案並びに基礎調査の実施、分析、事業スキームの検証など、こちらにつきましても公募方のプロポーザル事業提案を実施いたしました。そのなかで6社から提案の応募がございまして、審査の結果先ほどの事業と同様に、株式会社電通東日本の提案を採用させていただいております。この事業につきましては、来年秋ごろの開催に向けまして、関係団体、関係自治体、茨城県やヨーグルトメーカーと早急に調整を図りまして、準備を進めてまいりたいというふうに考えております。以上、企画調整課所管事業の説明を終わりたいと思っております。ありがとうございます。

真家都市整備課長

それでは最後になります。都市整備課所管事業についてご説明させていただきます。21ページをお願いいたします。事業名でございますが、家賃・住宅取得補助事業（移住促進住宅取得補助金）でございます。今年度から実施の事業でございます。事業の実施期間は今年度から平成31年度までの3ヵ年としております。予算額につきましては450万円、現在の執行額につきましては110万1,000円でございます。次に、事業内容につきまして補助対象者の条件といたしまして、平成29年4月1日から平成30年3月31日までに対象となる住宅への居住が開始され、転入届けを済ませることができる方などを条件としております。なお、補助対象者となる住宅につきましては、平成29年4月1日以降に市内に取得の契約を締結した住宅としまして、また平成30年3月31日までに

	<p>所有権移転の登記が完了することとの条件としております。続きまして、補助金の額につきましては、新築または新築住宅の購入で30万円、中古住宅の購入で20万円、中古住宅の改修工事に10万円と補助金の上限となる限度額を設定しております。次に、実施状況及び成果でございますが、8月31日時点で申請件数及び交付決定の件数につきましては4件でございますが、交付決定額は110万1,000円でございます。4件の内訳でございますが、新築住宅2件、中古住宅2件でございます。なお、申し込み期間は5月8日から7月30日までとしておりましたが、予定戸数に達していないため9月29日まで申し込み期限を延長しているところでございます。次に、課題及び反省点でございますが、市のホームページや市広報紙で情報を発信しているところでございますが、市外にお住まいの方が対象のため周知が行きわたらないのではないかとと思うことと、また、今回相談者のほとんどが基準日である4月1日以前に住宅を取得した方からの問合せが多かったこととでございます。次に、対応策といたしまして、この補助事業をより活用していただくために市のホームページや広報紙での情報発信の強化を図るとともに、ホームページでより確認できるよう分かりやすくしていくことと、また、来年度以降につきましては、基準日の見直しなどを検討していきたいと考えております。最後になりますがその他といたしまして、この事業の対象となる移住者向けの住宅ローンとしまして、市内3つの金融機関と連携協力に関する協定を締結いたしまして、特別金利を適用しまして補助対象者の割引優遇できるように連携協力して取り組んでいるところでございます。説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
岩本委員長	<p>以上で説明が終わりました。委員のみなさまから、ご意見ご質問等ありましたら挙手をもってお願いいたします。</p>
野村委員	<p>ダイヤモンドシティ・プロジェクトのなかでお聞きしたいのですが、合コン・街コン小美玉市内でどのぐらいあるのか把握している。合コンやっている組織。</p>
藤田子ども福祉課長	<p>わたしどものほうで全ては把握はしていないとは思いますが、いま、わたくしどもで確認できるのは、石岡市と一緒に石岡地方結婚相談所というものを運営しております。そこでこれまでですと年間3回ぐらいパーティを開催しております。そのほかに、商工会の青年部のほうでそういったパーティを開催していると。8月中にバーベキューのパーティがありまして、その後も何回か行われているという話は聞いてございます。</p>
野村委員	<p>それは市と一体としてやっているのかな。ここに幡谷くんって行って青年部で一生懸命、実は去年と今年と合コンがあったんですよ。そのときに15人ぐらいかな、男15人、女15人とかで約30名の合コンがありました。そういうなかで、わたしは正副会長がいたものですから、即座にこのなかで決まったらなんていう話しをしようと思ったら、幡谷くんに成婚ですからね成婚ですからねということで、成婚した人には茨城空港をひとつPRしようということで、みんなの前で搭乗券、ペアで決まった方は商工会であげましょうという話しもしましたので、そういう商工会でやるというときにはひとつ把握してもらいたいなと、これも一緒にならないといけないんじゃないかなと思ひまして、商工会は勝手にやってんだらうという意味ではなく、やはり同じ市のなかで、農業団体でもやっているかもしれないし、そういうものをいち早く把握しといてこれに同じくのせるという、商工会は商工会のほうで搭乗券を北海道、神戸、福岡ど</p>

	<p>こでも行きたいところに搭乗券をあげましょうと、一生懸命カップル作ってくださいということでお話したもんですから、どのぐらいあるのかなとそれを把握しといてもらって、うちのほうでも青年部に必ずやるときにはこういうことをやりますと、そういうときには会長も来ていただいて、やはり同じく進めるようにしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>
藤田子ども福祉課長	<p>大変心強いご意見をいただきましてありがとうございます。わたしどものほうも実行委員会のほうには、商工会の青年部の代表者の方も加わっていただいております。そういった情報は収集出来るようになるかと思ひますので、市のほうといたしましても、その他の団体で実施している婚活パーティ等などの実績等も把握できるようにしてまいりたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。</p>
荒川委員	<p>移住・定住なんですけど、この前わたしJRを利用したんですよ。そしたらあそこの日経新聞でニュースだとかでできますよね、あそこに日立がそこにPRしていたんですよ。小美玉市でもあそこを活用してもいいかなという感じがするんですけどそれが一点、それと、新築を買うんじゃないで新しく家を建ててもいいんだね。これが30万円、今年の4月から来年の3月まで一年間、その辺ちょっとよく詳しくお願ひします。</p>
真家都市整備課長	<p>ただいまの荒川委員さんのご質問でございますけれども、30万円につきましては新築住宅の購入と新築につきまして、30万円の補助をするということでございます。</p>
荒川委員	<p>それは市外から来た人だよな。</p>
倉田政策調整課長	<p>電車のなかのサインにつきましては、すみませんこれからよくわたしのほうで勉強させていただきたいと思っております。水戸駅の開札内にデジタルサイネージというのがあるんですけど、その予算を確認しましたら月額3万円から4万円かかるということで年間約15万円くらい、それで放映回数が1時間に15回、日にちにすると1日270回、月8,000回ぐらいは流せるというようなものがございまして、その他のそういったところもこれから調査したいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>
荒川委員	<p>是非やってもらって電車利用して結構北からも南からも交流するわけだから、東京からも乗って帰省する人また上京する人も結構いると思うんだよね、そのときに無意識に見ているんだよね、ああなるほどなって、ああいうこともいいPRじゃないかと思うんだけど、あと新築おもてから来た人というけどUターンIターンでもいいのこれ。</p>
真家都市整備課長	<p>ただいまの荒川委員の質問でございますけれども、2親等以内ということの条件を付けさせていただいております。ですのでUターンにつきましては、5年以上小美玉市から外れている方を対象としております。以上です。</p>
荒川委員	<p>あとで資料をもらいます。わたしは知り合いいっぱいいるもので、対象者もっと分からないんだよね、せつかく一生懸命書いてきてくれたりなんかして。</p>

真家都市整備課長	よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。
木村委員	すみません同じく家賃・住宅取得補助事業の件なんですけども、これだけ小美玉市に新築住宅があっちこっちにバンバン建っているのにまだ2件ということで大変驚いているんですけども、中古住宅の場合は現状で中古住宅買った費用の20万円と、そのほかりフォームした場合には10万円と併用もできるんですかね。30万円にすることもできるの大丈夫。
真家都市整備課長	併用も可能でございます。
木村委員	ありがとうございました。新築と同じ校果があるということで、あと小美玉には石岡から越してくる人が非常に多いかと思われるんですけども、どうしてこんなに建っているのに2件しかないのか非常に理解できないんですけど。
野村委員	これは小美玉の貸家にいる人が買っているんだよ。小美玉市に住んでいる人。
真家都市整備課長	ただいまのご質問でございますけれども、小美玉市に補助金で他の市町村からの転入でございますが、その状況をお知らせしたいと思います。 石岡市から1件、笠間市から2件、神栖市から1件でございます。それから9月に入りまして、期間を延長したところ2件の申請がございました。内訳につきましては、中古住宅1件と新築1件でございます。以上です。
木村委員	ありがとうございます。今後もどれぐらいの建築確認例えば年度でしたのか、どこから越して来てどういう年代の方が建てたのかということもそういうことも詳細に出してもらおうと今後の展望なんか開くのにいいのかなと思うんですけどよろしくお願ひします。以上です。
野村委員	貸家に入っている人が家を建てることも入れてやったらいいんじゃないの。小美玉市に住んでいて貸家で他に行かれちゃうかもしれないんだから、貸家にいる人が家を建てるといった場合にも、やっぱり対応してあげたほうが定住されるわけだからな。
木村委員	出ていくと50万円もらえるから。こっち30万円だから。
野村委員	そうかではまずいな。危ないな。
岩本委員長	ほか、ございせんか。 わたしからひとついいですか。出産祝い事業なんですけど、大変有難いんですけど、まず、人口減少とかそういったところからの考えだと、小美玉市で結婚をしてもらうこと、まず、第1子を産んでもらうこと、これが一番大事だと思うんだけど、第1子・第2子の場合2万円という補助なんだけど、その辺のところ考慮することできないのかな。まず、結婚をしてもらう小美玉市で定住結婚をしてもらうアパートでもいいんだけど、それで第1子を産んでもらう、まず、そこからだと思うんだよね。その辺のところどうなんだろう。

藤田子ども福祉課長	<p>お答えになるかちょっと難しいんですが、やはり人口減少対策として結婚そして出産をしていただいて人口を増やしていくというところで、いろいろな施策がそれぞれ相互に連携していかなければ、当然そういった施策というのは成功していかないというふうにちょっと子ども福祉課のほうとしては思っております、やはり子ども福祉課だけで結婚を頑張ったり、子育て支援を頑張ったりするだけではなくて、その後移住してくる方に今回の住宅補助であったり、あとは女性が働く場所とかそういったものも要領等を施策として取り組んでいかなければいけないというふうには思っております。そういった相互的なプロジェクトとしてこのダイヤモンドシティ・プロジェクトがありますので、こういったプロジェクトのなかの施策を順次進めていくというのが人口減少対策にとっては一番重要なのかなというふうに考えております。以上です。</p>
岩本委員長	<p>わたしもそのとおりでと思うんだよね。やっぱり、まず、小美玉で結婚して子どもが生まれました、そしたら子育てはこんなに優遇されるであったり、将来家を建てる時にはこういうふうに優遇されるであったり、あと、就職の面であったりとかそういったことも優遇されるとなれば当然定住にもなると思うし、そういったところで全庁で進めてもらうような施策と連携というものが大事だと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>ここで、ほか、なければ休憩したいと思います。11時05分まで15分間休憩いたします。よろしくお願いします。</p>
	<p>休憩 10:50~11:05</p>
岩本委員長	<p>それでは、休憩前に引続き会議を開きます。ダイヤモンドシティ・プロジェクト進捗状況について、ほかご意見なければ次進みます。</p>
木村委員	<p>すみません7ページなんですけども、何度もこれに関しては詳しく説明頂戴しているかと思うんですけど、可愛らしいマークでいいなと思ってますし、高速道路のサービスエリアかなんかでよく見かけるんですが、この辺の市内では見たような気がないというか存在してないような気がするんですけども、これを見れるような場所があるのかなということをお聞きしたいと思っております。</p>
藤田子ども福祉課長	<p>わたしどものほうでも、事業所をちょこちょこ歩いたり最近ですとグーグルとかで上から見られるので、いろいろと事業所のところを見たりしたんですが、障害者マークは付いている事業所は結構あるんですが、なかなかマタニティマークがあるというところは市内の事業所では見受けられませんでした。先ほどの木村委員さんおっしゃるとおり、高速道路には水タンクを入れて建てる縦看板のようなものがありまして、障害者用のマークの付いた駐車場の駐車スペースのところそういった縦看板のような形でマタニティマークを付けたものがありまして、そこについては障害者も使えるし、妊婦さんも使っていいですよというような表示はされているのは、サービスエリアとかパーキングエリアに設置されているのは確認しております。以上です。</p>
木村委員	<p>そうすると、市の施設は民間ということですけども、市の施設にもいまのところは存在していないということなんですか。</p>

藤田子ども福祉課長	残念ながら市の施設のなかでもマタニティマークについては、設置されているところはないと思います。
木村委員	分かりました。せっかくですからどこか見本になるような場所が1ヶ所でもさりげなく、民間でなくても市のほうで作っていただければと要望としてよろしくお願いいたします。
岩本委員長	それと、やっぱり市の公共施設の駐車場ぐらいはこういったマタニティマーク、それとこの1ヶ所5万円という補助というのは実際にこのマタニティマークをやった場合には実際幾らかかるの。
藤田子ども福祉課長	この事業の実施するときに、見積もり等事業者のほうからいただいたりしたんですが、約10万円になるということです。ただこれについても、設置箇所がまとまって一度に施行できるというようなことであれば、そういった施行段階については若干安くなりまして、10万円が7万5,000円になったり、そういう状況で見積もりをしてございます。以上です。
岩本委員長	<p>分かりました。ほか、大丈夫ですか。</p> <p>それでは、次、②政策提言の進捗状況について執行部より説明を求めます。</p>
倉田政策調整課長	<p>それでは、政策提言の進捗状況につきましてご説明いたします。資料2-1をご覧ください。</p> <p>提言1. 「羽鳥駅周辺整備事業の推進（陸の交流エリア）」の進捗状況につきましてご説明いたします。羽鳥駅周辺整備に関する政策調整会議につきましては、平成28年度は4回開催いたしまして、前回までの特別委員会でご報告させていただいておりますので、本日は2回開催しました羽鳥駅東口市有地の利活用についての意見交換会について報告させていただきます。この意見交換会は、民設民営の可能性も含めて整備手法を検討するために、意見交換会等の勉強会を設け開催することとしたものでございます。1回目の意見交換会につきましては、羽鳥駅東口拠点整備等検討委員会の委員でありました金融機関常陽銀行でございますけれども、これまでの経緯を踏まえまして、今後の展望や進め方についての意見交換会を行ったものでございます。2回目の意見交換会につきましては、民設民営の可能性について意見交換会を実施いたしました。常陽銀行から民設民営の可能性を探る手段として、サウンディング型市場調査という調査の実施が提案されたところでございます。このサウンディング型市場調査といいますものは、そこのかっこ書きにありますように、市有資産の有効活用策について事業のポテンシャルを最大限に高められる活用案や実現可能性の高い公募条件を検討するために、事業立案の段階から民間の業者との対話を通じ、意見交換をするということでございます。今後につきましては、財政面や条件面の整理、市場調査の実施の有無について、検討を行ってまいりたいというふうに思っております。提言2-1につきましては以上でございます。</p> <p>続きまして、提言2. 「茨城空港拠点地区の各種施策の推進（空の交流エリア）」の進捗状況についてご説明いたします。資料2-2をご覧ください。</p>

企業誘致に関する政策調整会議につきましては、28年度3回の会議を開催いたしました。この会議は前回までの特別委員会で報告済でございますので、4回目の政策調整会議のみご報告をさせていただきます。内容につきましては、厚木市の視察の報告について、議会産業建設常任委員会が実施した厚木市の企業誘致施策に随行しました産業経済部より報告をいただきまして、厚木市で実施している企業誘致メニューについて確認をいたしました。

次に、優遇制度の内容及び今後の検討事項でございますが、①固定資産税の免除案といたしまして、現在施行されている固定資産税の免除期間を3年から5年に拡大すること、②雇用奨励金案といたしまして、新規雇用者1人につき10万円を奨励補助金制度の認定を受けたものに対し、5年を限度として補助金を交付すること、この2点につきましては実施期間等を調整しまして、条例、要項の策定を進めることとしております。③用地取得奨励金といたしまして、対象地の選定や財政面について担当部署の考えをまとめ、関係部署と調整し再度検討することとしております。

次に、免税店につきましては、現在は昔ほどの大量購入をされていないこと、それから、販売手続きが繁雑であり人員の確保が難しいことなど、調査結果では、普通の販売店が免税販売を行うのは手続きが繁雑でメリットが少ないという現状でありまして、これを緩和するために一般販売店が免税販売を行うための補助をするという考え方と、免税販売店を誘致するという2つの方法について引き続き検討することとしております。

次に、空港線沿線の土地利用につきましては、空港沿線は農振区域や第1種農地が多く企業立地が困難な状況であることから、農地転用を可能にするなどの企業が立地しやすい土地利用の環境整備の手法について、関係部署で部会を設置しまして調査・検討を行うことといたしました。

続きまして、空港沿線の土地利用に関する検討会議についてご報告をいたします。内容につきましては、空港線沿線の農振地区の確認及び農工法改正法、地域未来投資促進法の内容について確認をいたしました。企業が立地しやすい土地利用の環境整備を図るべく、各部署において農地転用等の方法・手段について県関係への聞き取りその他情報を収集し、今回の会議において検討することとしております。提言2-2については以上でございます。

続きまして、提言3.「玉里地区の観光振興（水の交流エリア）」の進捗状況についてご説明いたします。資料2-3でございます。玉里地区の観光振興に関する政策調整会議につきましては、28年度3回会議を開催いたしました。この会議は前回までに報告済でございますので割愛させていただきます。6月27日に近畿日本ツーリストの担当者を招いて開催しました部会による勉強会について報告をさせていただきます。内容でございますが、(1)観光の現状につきましては、訪日外国人旅行者は中国人を筆頭に、オリンピックまでは増加するものと見込まれており、日本人旅行者は今後減少に転じるとともに、豪華旅行か、それから格安旅行この二極化されると見込まれているということでございます。(2)自治体観光これからについてでございますが、昔は「子ども・花・動物」が観光の要素でありましたが、今は「今だけ・ここだけ・あなたただけ」が観光戦略となっているということでございまして、テーマ・ターゲットをとことん絞っていくということでございました。気付きにくいところでございますが、人も観光資源であり文化財も学芸員のガイドが面白ければ観光資源として十分魅力的だというようなことでございます。(3)小美玉の可能性と自走する仕組みについてでございますが、1.小美玉市として方向性を決める。2.地域を巻き込んで方法・戦略を決める。3.事業者が実施する。4.データを取

	<p>りに活かす。これをPDCAで回すという仕組みづくりが必要ではないかということでございました。また、行政がいくら旗を振っても地域の人たちが付いてきてくれなければ成功とはいえないし、地域の人たちが参画して小美玉市の可能性を見つけ磨いていかなければならないということでございます。ひとつの自治体だけでは人は呼べませんので、定住自立圏構成市町村通しがお互いに宣伝しあって、このエリアに広域で観光を誘客するということが大切だということでございました。今後、検討事項といたしましては、この四角にありますように、どのような観光戦略でいくか、地域の人たちと共有するビジョンや計画が必要であること、中核を担う人、周囲の理解を広げるための人材育成を同時並行で行うこと。人員・予算など体制整備には民間との連携も視野に入れること。広域で誘客していくなかでのソフトの1つとして玉里地区の観光企画を磨くこと。これらを念頭におきながら政策調整会議において、小美玉市としての取り組み方を今後も検討してまいりたいというふうに考えております。提言2-3につきましては以上でございます。</p> <p>提言4. 自治体連携による人口増加対策の推進についてご説明をいたします。まず、資料はございませんが、自治体連携の調査研究につきましては、先の特別委員会でご説明いたしましたとおり、人口減少等が地域におけるさまざまな課題に県央地域の市長懇話会の構成9市町村で一丸となって対応するために、茨城県央地域定住自立圏の連携事業をこの4月からスタートしたところでございます。事業進捗などについてお示しできる段階になりましたら、ご報告をさせていただきますというふうに思っております。</p> <p>次に、資料2-4でございますが、災害協定の連携推進につきましては、これまでに45の災害時応援協定を結んでおります。前回の特別委員会後の協定締結といたしましては、一番最後のページになりますが、NO, 43 から NO, 45 に掲載しました3つの協定を締結しております。今後も各所管において災害協定の締結について調査研究を重ねまして、協定の締結推進に努めてまいりたいと思っております。最後に高齢者施設等の受け入れ推進につきましては、先進事例や県及び周辺市町村の動向を踏まえ引続き検討をしてみたいというふうに思っております。以上で説明を終わりにさせていただきます。</p>
岩本委員長	<p>以上で説明が終わりました。この政策提言というのは、わたしたちの委員会を中心となって提言した部分でございますので、みなさんから広くご意見いただきたいと思っております。ご意見のある方挙手を持ってお願いいたします。</p>
野村委員	<p>なんとしても茨城空港がございますので、前からお話しているところではございますけれども、副市長ホテルはどのように考えているのか、市長は民間でやりたいというような協力をしたいというような話をよくしているんですけども、やっぱり飛行場の周りに空港石岡にばかり持っていかれるようでも困るので、空港の話は市のほうでいろいろな方面に働きかけているのか、いまそういう何かかきいているのか、もし進んでいる状態があればお話を聞きたいと思っております。</p>
林副市長	<p>野村委員からのご質問でございますが、ホテルということでございます。これは非常に空港を抱える市としては、重要な要素になるかなというふうに思っております。このなかの政策調整会議のなかでもまとまった形にはなっておりませんが、ホテル例えばよそのところでホテルがきたときにどういう優遇措置があるのかとか、優遇制度があるのかということは検討というか調査研究をし</p>

	<p>ているところでございます。また、民間の事業者の方からそういう話がないかというと実際問合せであるとかそういうことについては少しずつではありますが、0ではないという状況でございます。そういうことを踏まえながら、例えばホテル等がきたときに、そちらのホテルについて例えばこのような固定資産税であるとかそういうところの制度であるとか、優遇制度等々は検討していきたいなということで、いままだ調査研究進めているところでもありますので、何らかしらまとめていきたいというふうに思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。</p>
岩本委員長	<p>いいですか野村さん。</p>
野村委員	<p>うん。なんかこう発信がまだまだ真剣ではないなと思うんだけど、そこら辺副市長を中心に、きてもこなくてもホテルがあるところはみんな連絡それぐらひの元気でやってもらいたいなと。すまないね。</p>
岩本委員長	<p>積極的によろしくお願ひします。 ほか、ございませんか。</p>
木村委員	<p>野村議員さんとちょっとかぶってくるかもしれないんですけど、空港線沿道の土地利用のところなんですけども、この部会というのはどのように進んでいるのかなとすごく気になりまして、どうしても立場上経済産業部ですとか農業委員会というのは原則農地法とかわれわれは守るというそういう会議になりがちだと思ひますよね、どうしてもその辺はいろんなアイデアとか方向性を企画とか都市建設とかが強いリーダーシップでもって示していかないとどうしてもどんどん夢ばかりになって時間ばかりが経過しちゃうんじゃないかと思ひますのでその辺が凄く心配なんですよね。用途地域とか地区計画とかつくらなくても、職種によっては自動車の資材置き場だったり、事務所の古い古物置き場だったり資材置き場なんていうのは転用できるでしょあの辺とかで。そういうどんどん発展しないものに用途転用されるのが凄く心配で、わたしの要望なんですけどどういふ状況になっているのかなと思ひまして。</p>
倉田政策調整課長	<p>確かにメンバーのなかには農地を守る立場の方も入って検討はしているところでございますが、わたしはこの沿線を有効に利用する企業誘致がしやすいよふにということと検討するにあたりましては、やはりそういうところも入っていただかないと仕方ないんですけれども、そういった方も入ったなかで、いろんな法律の一部改正とかもあつて優遇できるよふな制度があるよふなことも聞いてますので、そこはまだ新しく改正になったばかりで、県のほうもまだ状況がよかつかめていないということで、情報を収集しながら小美玉市が進められるよふな沿線の利用ができるよふな形で網掛けができるのか、あるいはその企業さんがきたときに、ここがどうなのかというよふなピンポイントにやるしかないのかそこら辺はまだはっきりしませんが、小美玉市が進められる土地利用ができるよふな形で今後また検討していきたいというよふに考えておりますので、なるべく早めにそこら辺も結果をだしていきたいというよふに思つております。</p>
木村委員	<p>分かりました。その会議の際には企画とかのほうではこういうよふにしたん</p>

	<p>だ、こうなんだというなんだという形づくったものをだしながら会議というの はやっているの。それとも何もなくてどうしようという状態の会議なのか、そ れとも企画としては市としてはこういうふうにしたらいんだというのを提示した 上で進めているんですかね。それだけちょっとお聞きしたいんですけど。</p>
倉田政策調整課長	<p>沿線を全て図面を広げまして、そのなかで農振地域といっぱい色づけした図 面を見ながら、全線をどういうふうにしたらいいのかお話をさせていただいた なかで、まずはいまできている空港から2キロほど県道ができていますよね、 その部分についてまずは検討できないかということで話をいま進めているとこ ろでございます。</p>
岩本委員	<p>スマートインターからも直接道路がつながる計画があるので、これも含めて よろしくをお願いします。</p>
谷仲委員	<p>着座のまま失礼します。まず、政策提言1の羽鳥駅周辺整備事業推進の説明 のなかで、周辺整備民設民営の可能性も含めて現在進めていると、今後の進め 方の欄に財政面や条件面の整理、市場調査の実施の有無について検討を行う段 階と書いてございます。羽鳥駅橋上化の供用開始が平成31年を共用開始目標に して、その周辺整備もそちらにあわせるようなところで進めていくのかなと思 います。そうしますと、こちらの周辺整備のスケジュールとしていまは29年度、 30、31その期間というなかで、これを詰めて進めていくような認識で捉えてい いかどうかというそのところを確認したいと思います。分かりやすくいうと、 共用化にあわせて周辺整備のほうも行っていくということで捉えていかどう か、この民設民営の可能性も含めた検討事項についてです。</p>
小松建設都市部長	<p>それでは、わたしのほうから谷仲委員のただいまのご質問についてお答えを したいと思います。羽鳥駅そのものの橋上化については、いま谷仲議員からご 案内ありましたとおり、平成31年度共用開始を目標にこれから工事がはじまる という段階になってまいりました。市有地の実際具体的にそこをどういう形で あるか、実際実現化を図れるスケジュール的には、かっこたる話としては難し いところですが、実際には羽鳥駅及び広場を工事をするために、ある程度やは り市有地の部分も含めて一部どうしても工事の事実上仮設ヤードを設けたり、 一定の重機等が工事期間中入っていく状態になりますので、物理的技術的に同 時に市有地のほうの何かしらの施設づくりというのを平行的に進めて一緒に動 くというのは、かなり技術的には難しい感がございますので、いまの見通しと しましては、どうしても新しい橋上化駅の開設が先行し、そののちに市有地の 建設といたしますか、そういうことができるという段階的な状況になるかなとい うふうにこちらでは見通してございます。</p>
谷仲委員	<p>ありがとうございました。続きまして、玉里地区の観光振興（水の交流エリ ア）の件で、来年世界湖沼会議が茨城で開催されるにあたり、サテライト会場 を簡単でいいのですが、その件についてその後の状況というのがもし動いてい るようでしたらお願いいたします。</p>
林副市長	<p>それでは、先ほどのまず橋上化の関係、技術的な話のところで都市建設部の ほうでいま進めているところで順番的な話がありましたけども、先ほどござい</p>

	<p>ましたように、両方一気にできるのがそんないことは当然ないわけでございますので、それを捨てたというわけではありませんで、あくまでいまこちらでも一生懸命進めながらそういうなかで、どのタイミングでできるかというところを探っているというか、特にただ単なる市の施設としてつくるのであればこれは違う形になりますけれども、例えば複合であるとか、そういう民間にも協力していただくとなると、いろんな調査関係もしながらやっていかなければいけない部分もございますので、その辺、しり見える部分もあるかと思いますが、ご理解いただきながらなるべく早くこちらについても進めていきたいというのがまず現状でございますので、順番にやるような例えば考えで正式にやるかということではいまないということでございますので、よろしくお願ひします。なるべく早くやっていきたいと思ひますけど、できれば間に合わせられればベストだと思ひますけども、そこはまだ捨てているわけではございませんでよろしくお願ひしたいと思ひます。それから玉里地区の観光振興のところでのサテライトの話でございますが、これについては本会場がつくばということになってございまして、そのほかに霞ヶ浦と北浦ということで1ヶ所ずつということで県のほうでは決めているようでございまして。そういう意味ではサテライト会場は、霞ヶ浦となりますと土浦が中心となるという方向でいまいるようでございまして。ただそれはあくまで湖沼会議と湖沼会議のセットでのサテライト会場ということでございまして、各地がそれぞれ自分の力でというか協力をして進めていくということはまた県のほうでも推奨していただいておりますので、市としては来年この湖沼会議に前後合わせて各種団体とも協力をいただきながら、いま何かしらの用意ができるかイベント等を含めていまやる方向でいまいろんな調整をさせていただいているところでございまして、正式な形でまだ決まっておはりませんで、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。</p>
谷仲委員	<p>ありがとうございます。それと最後に災害時における応援協定、先ほど政策のほうからご説明いただきまして、ここに担当課というところが防災管理課ですとか、水道局ですとか担当課が書いてございます。そうするとこの他1点確認としてこの全体の取りまとめとめというのは、政策調整課になるのでしょうか。</p>
倉田政策調整課長	<p>ここに示しております災害時における協定につきましては、防災管理課のほうで取りまとめて資料をつくっております。</p>
谷仲委員	<p>そうしますと、そのいろんな多種多様な災害等を想定してというなかで、各担当課で協定をあげてくるというようなところの認識でよろしいんですかね。それとも、そこにきて、一括で政策で全体をまとめたり把握したりするのは防災、政策というか確認です。</p>
倉田政策調整課長	<p>情報共有はするようにしておりますので、例えば健康増進課で災害時の医療器具に関する協定をしましょうといったときには、政策が入ってその段取りをしたりしまして、その情報提供は防災のほうにもしてこういう資料にまとめているところで、その協定のときにどこが立ち合うかというのは、一概には全部が防災が立ち会うとかそういうことではなくて、臨機応変にそこら辺は情報を共有しながら進めております。</p>

谷仲委員	<p>そうしますと、情報共有というところで多分いろんなところがあるなかで政策がやっぱり絡んでくるかなと思いますので、よろしくをお願いします。以上でございます。</p>
岩本委員長	<p>ほか、ご意見ご質問等ございませんか。</p> <p>わたしからひとつ、提言3. 玉里地区の観光振興の件なんですけども、(3)小美玉の可能性と自走する仕組みということなんですけど、要はこれから小美玉市として方向性を決めていくんだと思うんですけど、ここにあるように地域の人たちが参画しないと協力がないとほんとに観光振興にはなり得ないと思うんですね、だからこれからの小美玉市の方向性を決めていくにしても、もっと地域の人々の声を聞けるような機会であったりとか、そういった場をしっかりと設けてもらって、観光振興のほうを進めていっていただきたいと思います。要望です。ほかなければここで閉めます。よろしいですか。</p> <p>それでは、3番議会報告会について。みなさんの手元に地方創生まちづくり特別委員会が担当する案件が3つほどあります。当日の質問の内容と、当日回答の趣旨の部分、それと執行部のほうの回答とあります。これを今後、公表していくなかで、みなさん目をとおしていただいて、当日の質問内容と当日の回答趣旨部分に関してはそのまま書いてあると思いますので、違いがあるかないかだけ確認いただくことになるかなと思いますけど、あとは執行部の回答について、例えばこれに対して議会側でみなさん方で要望があったりとか提案があったりとかすれば付け加えていきたいと思います。ご意見等ないですか。</p>
幡谷副委員長	<p>こちらの執行部の回答のほう1番目と3番目がほぼ一緒になっているわけなんですけども、すみませんわたくしの率直な意見としてとても後ろ向きな回答になっているというふうに感じております。こちらのバイオマスの件は、昨年28年7月頃からこちらの地方創生委員会のほうでも取り上げてまいりました。それに対して視察も行い議会の総意としては調査研究を進めていく、執行部側としても調査研究を進めていくというふうにはわたくしは認識しておりました。そういう観点から見ますとこちらの回答のほうにはとても後ろ向きな庶民的な回答になっているんじゃないかなというふうに考えております。いまも小美玉市では今日ヨーグルトサミットとかもありました。乳製品での乾杯も進めております。そういったなかで店先だけ綺麗にするのではなくて、やはりトイレの部分も一般に対してPRできるような、いまの民間の企業であってさえトイレは特に気を使って綺麗にしています。飲食店もそうです。そういった例えになるかどうかですけども、トイレの部分も綺麗にしてみなさんにPRをしていく、これはわたくし個人のお話になってしまうかもしれませんが、市で行政で建物をつくる研究をしないさいと執行部のみなさんにお話をしているのではありません。共に研究をしてこれからの小美玉市に何が必要かをいち早く考えていかなければいけないというのをわたくしはみなさんに強くお話をしてきました。そのうえで、是非研究面でじっくりと早急に考えていかなければいけないというふうに考えております。その件について執行部のほうでの見解をお伺いしたいんですけどもよろしいでしょうか。</p>
林副市長	<p>それでは、いまの幡谷委員のお話でございますが、委員からもございましたように、小美玉市にとって酪農、養豚、鶏卵ですね、事業所については非常に大事な重要な産業でございますし、委員からございましたように、その処理等についても非常に重要な課題というふうには認識をさせていただいております。</p>

	<p>す。そういうなかで、どうしても回答という形になると現在やれていないものについてはというようなことで、こういう表現はなっているかと思いますが、議会等でも答弁させていただいているように、また、鹿追町への視察についても執行部のほうからも同行させていただいているように、しっかりとその重要な課題であるということを確認しながらどのようにしていくのか調査研究ということは非常に重要だろうというふうに思っておりますし、それを放棄しているわけではございませんので、その辺のところをご理解いただきながら、また、執行部のほうでもしっかりと同じ思いを持ちながらやっていきたいというふうに思っておりますので、なかなか表現になるとその辺の表現のところも検討させていただきながら、調査研究等については引続き進めていきたいというふうに考えておりますので、ご理解のほどお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
幡谷副委員長	<p>是非よろしくお願ひします。なお、この議会報告会資料の1番目の執行部の回答の一番最後3番目になるんですけども、第2次総合計画のなかの意見について、具体的になっていないことから明記しておりませんとありますが、これはこの事業具体化するために明記をして今後具体化をしていくんだというふうに捉えていただいて、是非、第2次総合計画のほうには盛り込んでいただきたいというふうに思いますがその件についてお願ひします。</p>
林副市长	<p>では、総合計画のなかでどのような表現ができるかということもございすが、何かしらの形でしっかりと盛り込んでいけるようにしていきたいというふうに考えておりますので、なかで調整させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
幡谷副委員長	<p>ありがとうございます。それでは、執行部の回答のほうはそのように訂正をしていただいて、これをいろんな形で市民に公表するわけですから重要な部分になりますのでお願ひいたします。</p>
福島委員	<p>バイオマス関係について、家畜の糞尿のことだけでここにいろいろ取り上げられていると思ひますけれども、わたくし実はずちの団体で生ゴミ処理も一緒に見てきました。糞尿と一緒にして生ゴミ処理をするというのと、各家庭のなかでも感心が深まるのではないかなと、生ゴミを燃してしまうのではなくて家畜と一緒にしながらこのバイオマスそれから肥料化とかいろいろな方法があると思ひますので、絡めてそういう施策もあるということの研究して具体化していただけたら有難いなとこれは要望ですけれどもよろしくお願ひいたします。</p>
幡谷副委員長	<p>いま福島委員さんがおっしゃったとおり、生ゴミそれとそのほかにも野菜残渣、とくにわたくし会社の事務所が野田にあるもので、わたくしニラは大好きなんです、いまの時期刈り取ったものを農家さん畑に山積にされます。その臭いがものすごいんです。そういったものもバイオマスのいちエネルギーのものになります。そういったことも多岐に渡る、もちろん下水汚泥なんかも実際に利用できるんですね。そういったことから是非研究していただきたいと付け加えさせていただきます。お願ひします。</p>
岩本委員長	<p>わたしのほうからもいま研修に行っていますし、確かに家畜の糞尿の臭いこ</p>

	<p>それは当概者非常に申告な問題でもありますし、各事業所それなりに対応していると思うんですけど、対応しきれていない部分も多分にあると思います。それといま福島委員とか幡谷副委員長からでたように、残飯であったりとか例えば給食センターの食べ残しであったりとか、あと雑草なんかも使えるんだよね。だからそういった部分も含めてしっかりと調査研究をして実現化できるような方向で考えていただければと。これ議会報告会のこの資料は今後市民に公表するものですので、執行部のほうの回答少し訂正していただければと思います。よろしく願いいたします。ほか、ご意見等なければ。よろしいですか。では、執行部のほうの回答を訂正する部分があると思いますので、議会報告会の件はそのあとの対応をまとめて委員長、副委員長にまかせていただければよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>「はい」と呼ぶ声あり</p>
岩本委員長	<p>それでは、そういう形で進めさせていただきます。それでは、5番その他でございます。みなさんから何かありましたら。 執行部からないですか大丈夫ですか。事務局も大丈夫。</p>
富田書記	<p>10月11日12日の青梅と川場の研修なんですが、宿の都合があるので出欠を閉会日までに、欠席される方だけ構いませんので、連絡いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
岩本委員長	<p>よろしく願いします。ほか、なければ。では、本日の委員会は終了します。</p>
幡谷副委員長	<p>以上で、地方創生まちづくり特別委員会の方を閉会といたします。お疲れ様でした。</p>
	<p>閉会 11:50</p>